

研究課題名	透析患者における残存腎機能が周術期予後に及ぼす影響に関する後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	維持透析患者の中で腎機能が残存している患者は予後が良いという報告がされています。一方、維持透析患者が全身麻酔下で手術を受けた場合、非維持透析患者と比較して術後の合併症発生割合は高いと言われています。そこで、維持透析患者の中でも腎機能が残存している患者についての術後の合併症発生率に関しては調べられていません。そこで、本研究では既に全身麻酔下で手術を受けた維持透析患者の診療記録(カルテ)から種々のデータを抽出し、残存腎機能の有無で術後合併症および予後に差があるかを調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年5月～2020年3月に大阪市立大学医学部附属病院で、全身麻酔下で手術を受けた維持透析患者が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、透析記録、麻酔記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 研究責任者 日野秀樹
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 日野 秀樹 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：m1165192@med.osaka-cu.ac.jp